

病院長への手紙に対する回答(R6.12.2回収分)

番号	手紙の主旨	対応状況
9767	入院中は担当医師をはじめ、8東病棟の皆様にはご尽力頂き心より感謝申し上げます。面会時にはその日の母の様子を教えて下さったり、孫の面会を許可していただけたりと日々状況が厳しくなる中、私達家族へご配慮頂き本当に感謝の気持ちでいっぱいである。母も安心して旅立つことが出来たと思う	お手紙ありがとうございました
9768	先生、本当にありがとうございました。この1カ月、先生の優しさに包まれ、心穏やかに過ごすことができた。感謝してもきれません。	お手紙ありがとうございました
9769	乳腺外科の医師不足の問題を、患者に負担させる対応は、釈然としない。早く乳腺外科の医師を増やしてほしい。	この度は、不快な思いをさせてしまい、申し訳ございません。患者様の立場に寄り添った診療をするよう医師に指導してまいります。頂いたご意見は、今後の病院運営の参考とさせていただきます。
9770	外来で採血結果が出ないと、CT検査が受けられないと言われたが、事前の説明が全くなかった。胃カメラに間に合うよう来院したのに、大変迷惑である。また、病院側のミスなのに検査の順番を入れ替えてもらえない。検査前の食事制限もあり、予想外に時間がかかりすぎて、体調が悪くなる。	この度は、不快な思いをさせてしまい申し訳ありません。頂いたご意見は診療科科長と当該医師に伝えとともに、院内で共有し、患者さんに分かり易い説明に努めてまいります。
9771	腹部エコーを行った。私はおなかを出して検査を受けたが検査技師はびっくり体をくっつけ、不快で気持ち悪く検査技師の体温が伝わって来て、嫌な気持ちと気持ち悪さだけが残った。2017年から2018年にも同じことをされた。	この度は不快な思いをさせてしまい大変申し訳ありませんでした。腹部超音波検査・心臓超音波検査はその性質上、患者さんに体を接して検査を実施することがございます。部屋の照明を下げて検査をするため、特に左側臥位での検査ではベッドからの転落を防止する意味もございます。今後は、検査担当者全員に情報を周知し患者さんに配慮した検査をいたします。また、24番受付および超音波検査室の前に【同性技師担当希望の方】の掲示しておりますので、24番受付へお申し出ください。
9772	ア. ベッドにいながら患者が通話していることがある。看護師が注意することなく、対応や言葉かけもないまま退室していく。なぜ、注意しないのか理由を知りたい。 イ. 面会時間、病室内で大きな声で話す家族、患者に対して何も注意しない。多床室には他の患者も体力回復や体調を整えるために休息をとる方もいる。同部屋の患者に対して人権を尊重してもらおうべく小さな声で話すよう看護師には注意してもらいたいと強く思うが、注意すらしてくれない理由を知りたい。 ウ. 家族が持参した食べ物や飲み物を、そのままベッドで飲食していた。看護師は気付かなかったのかもしれないが、見回りにも来なかった。面会時間の巡回はないのか。 エ. 看護学校の教員が実習生と一緒に患者に挨拶にきたあと、45分間病室にとどまり、そのほとんどを患者と教員が大きな声で話をしていて。看護実習生受け入れの際の決まり事などは学校と事前打合せしていないのだろうか。教員自身の配慮のなさに、学校の運営自体を疑ってしまう。打合せ内容の開示請求方法はあるのか。 オ. 患者のほとんどがマスクをしていない。廊下には「厳守」と書かれている。マスクをするよう注意しているところを見たことがない、理由を知りたい。 カ. 入院中の副作用のため、常食菜から常食菜(主食大盛・副食大盛)、希望限定食(主食大盛・副食大盛)に変更となった。希望限定食については、要望と異なる食事が提供されていたことがあった。入院中の食事は自己負担であることを考えると複雑な思いである。	ア. 携帯電話の使用については、『入院のご案内』に記載していますが、他の患者さんの安静・静かな環境保持のため、携帯電話やタブレット端末で通話するときは、デイルームや電話ボックスを使用して頂きたいことや、大きな声での通話や消灯時間以降の使用はご遠慮頂きたいことをお伝えしています。患者さんの状態により、病室以外で通話することが難しい場合は、短時間での通話にご協力頂いております。他の患者さんへのご迷惑になる場合には、お声がけさせて頂いています。 イ. 患者さんにより、大きな声での会話が必要な方がいます。しかし、同室の方々の体調やお気持ちに寄り添う必要がありました。個々の状態に沿った対応を心掛けてまいります。 ウ. 面会時間においても看護師の巡回は行っておりますが、面会がご家族の時間でもあるため、訪室を少なくすることがあります。面会時の飲食については、決められた場所でお取り扱いいただくようお願いしております。 エ. 看護学校の実習受け入れに関しては、事前打ち合わせを行ったうえで実習を行っております。今回の件については、看護学校にも伝えていくと共に病棟においても実習中の受け持ち以外の患者さんへの配慮等を行うよう指導してまいります。何か気になる点がありましたら、病棟師長にお声がけください。 なお、公文書の開示請求につきましては地方独立行政法人埼玉県立病院機構が行う公文書開示請求等に関する規程に基づき、開示請求することが可能です。事務局(人事担当)までお問合せください。 オ. マスクを着用していない患者さんには、着用をお願いするよう職員へ伝えております。患者さん自身の感染対策として、マスクを着用することの指導を行ってまいります。 カ. 入院中の食事は医師の指示に基づき提供されます。希望限定食という食種は、病状や治療などにより、通常の献立では食事を召しあがれない方に対して提供しています。主食と、それ以外に3品を選んでいただき提供します。選んでいただく食事は常食菜や軟菜等で使用している食事から選んでいただく他、希望限定食用のメニューブックから選んでいただきます。選んでいただく食事によって、お膳の上に並ぶ食事の内容は他の方とは大分異なる場合がございます。エネルギーや栄養成分が不足したり偏る場合もございます。常食菜や軟菜等を召し上げられる場合には、通常食をお勧めいたします。今回、希望限定食での対応については、予めご希望のメモをいただき、これに基づいて食事オーダーが入力されておりました。ただ、メモと異なった入力の一部あり、提供される内容が変わっていたことがあったと思われ、ご希望と異なりました点についてはお詫びいたします。今後は、このような場合、お手数ではございますが、その都度にご指摘いただきますと、その場で確認が可能と思われますのでお願いいたします。